

第88回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間30分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金					
貸	倒	引	当	金	有	価	証	券	貸	付	金	建	物				
買	掛	金	借	入	金	仮	受	金		所	得	税	預	り	金		
売		上	受	取	利	息	有	価	証	券	売	却	益	仕	入		
給		料	貸	倒	損	失	支	払	利	息	有	価	証	券	売	却	損
現	金	過	不	足													

- a. 現金の実際有高を調べたところ、帳簿残高より ¥2,000 少なかった。よって、帳簿残高を修正して、その原因を調査することにした。
- b. 富山商店から商品 ¥270,000 を仕入れ、代金はさきに得意先新潟商店から受け取っていた約束手形 ¥270,000 を裏書譲渡した。
- c. 得意先東西商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ¥90,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥120,000 ある。
- d. 京都商店に借用証書によって貸し付けていた ¥600,000 の返済を受け、その利息 ¥18,000 とともに現金 ¥618,000 を受け取った。
- e. 出張中の従業員から当店の当座預金口座に ¥130,000 の振り込みがあったが、その内容は不明である。
- f. 本月分の給料 ¥650,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥52,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。
- g. 売買目的で保有している福井商事株式会社の株式100株（1株の帳簿価額 ¥7,000）を1株につき ¥8,000 で売却し、代金は当店の当座預金口座に振り込まれた。
- h. 店舗用に建物 ¥4,500,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、登記料と買入手数料の合計額 ¥290,000 は現金で支払った。

2

石川商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

4月/2日 金沢商店から商品の注文を受け、内金として現金 ¥90,000 を受け取った。

(伝票番号 No. 24)

〃 日 全商銀行に定期預金として小切手#8 ¥450,000 を振り出して預け入れた。

(伝票番号 No. 73)

3

和歌山商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の現金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。

(2) 売上帳と売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、現金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

/月 7日 奈良商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥160,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

A 品 850個 @¥260 ¥221,000

B 品 900〃 〃〃390 ¥351,000

/5日 大阪商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 210個 @¥400 ¥ 84,000

B 品 320〃 〃〃600 ¥192,000

/7日 大阪商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり値引きをおこなった。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A 品 50個 @¥ 60 ¥ 3,000

22日 三重商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥100,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 590個 @¥400 ¥236,000

29日 三重商店から売掛金の一部を次の約束手形#16で受け取った。

No. 16 約 束 手 形		和歌山県和歌山市砂山南3-3-94 和歌山商店 和歌山 一郎 殿	
収入 印紙 200円 三 重	金額	¥280,000	
	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします		
	平成 ○ 年 1 月 29 日	支払期日 平成 ○ 年 3 月 29 日	四日市 2401 0914-024
	振出地 住所 三重県津市湊見町699	支払地 三重県津市	
	振出人 三重商店	支払場所 株式会社 全商銀行三重支店	
	三 重 太 郎 (三 重)		

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

資本金勘定に対する引出金勘定のように、ある勘定の金額を修正する役割をもつ勘定を という。

1. 評価勘定 2. 統制勘定 3. 人名勘定

- (2) 南北商店（個人企業）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 期間中の費用総額 b. 期末の資産総額

資 料

i	期間中の収益総額	¥6,419,000
ii	当期純損失	¥537,000
iii	期首の資産総額	¥3,460,000
iv	期首の負債総額	¥1,182,000
v	期末の負債総額	¥1,428,000

- (3) 滋賀商店の次の勘定記録と当座預金出納帳から、（ア）と（イ）に入る金額を求めなさい。ただし、借越限度額を ¥500,000 とする当座借越契約を結んでいる。

当 座 預 金		当 座 借 越	
1/1 前期繰越 120,000	1/12 仕 入 ()		1/12 仕 入 50,000
10 売 掛 金 (ア)			

当 座 預 金 出 納 帳

平成 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または 貸	残 高
/	/	前月繰越	120,000	借	120,000
	/10	彦根商店から売掛金回収	()	〃	270,000
	/12	大津商店から商品仕入れ 小切手#25	(イ)	貸	()

5

北海道商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項等は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理事項等の仕訳を示しなさい。
- (2) 備品勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 損益計算書を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 610,000	当座預金	¥ 1,175,000	売掛金	¥ 2,300,000
貸倒引当金	6,000	繰越商品	740,000	前払金	196,000
備品	870,000	支払手形	1,070,000	買掛金	1,176,000
資本金	3,180,000	引出金	50,000	売上	9,413,000
受取手数料	89,000	仕入	6,090,000	給料	1,662,000
支払家賃	924,000	水道光熱費	276,000	雑費	38,000
現金過不足 (借方残高)	3,000				

決算整理事項等

- a. 期末商品棚卸高 ¥680,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥1,160,000 残存価額は零(0) 耐用年数は8年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ¥3,000 は雑損とする。
- e. 引出金勘定の ¥50,000 は整理する。

第88回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解答用紙]

1	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		

1		2		3		4		5		総得点	
得点		得点		得点		得点		得点			

試 験 場 校	受 験 番 号

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

帳 上 売

1

[illegible]

帳 元 金 掛 売

大 阪 商 店

1

[illegible]

三重商店

2

[illegible]

4

(1)

(2)

a	$\frac{2}{7}$	b	$\frac{2}{7}$
---	---------------	---	---------------

(3)

ア	$\frac{2}{f}$	イ	$\frac{2}{f}$
---	---------------	---	---------------

2

得点

3

得点

4

得点

5

(1)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

	備 品	7
1/1 前期繰越	870,000	

(3)

損 益 計 算 書

北海道商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価		売 上 高	
給 料		受 取 手 数 料	
()			
()			
支 払 家 賃			
水 道 光 熱 費			
雑 費			
()			
()			

5

得点

	借 方		貸 方	
a	現金過不足	2,000	現金	2,000
b	仕入	270,000	受取手形	270,000
c	貸倒引当金	90,000	売掛金	90,000
d	現金	618,000	貸付金	600,000
			受取利息	18,000
e	当座預金	130,000	仮受金	130,000
f	給料	650,000	所得税預り金	52,000
			現金	598,000
g	当座預金	800,000	有価証券	700,000
			有価証券売却益	100,000
h	建物	4,790,000	当座預金	4,500,000
			現金	290,000

1

入金伝票		No. 24	
平成○年4月12日			
科目	前受金	入金先	金沢商店
摘要	要	金	額
商品代金の内金受け取り		900,000	0
合計		900,000	0

出金伝票		No.	
平成○年 月 日			
科目	支払先	金額	殿
摘要	要	金	額
合計			

2

振替伝票		No. 73	
平成○年4月12日			
勘定科目	借方	勘定科目	貸方
定期預金	450,000	当座預金	450,000
合計	450,000	合計	450,000

摘要 全商銀行に定期預金預け入れ 小切手 # 8 振り出し

3 (1)

仕訳帳				1	
平成○年	摘要	借方	貸方	借方	貸方
/ /	前期繰越高	✓	4,827,000	4,827,000	
7	(仕入) 諸口金		572,000		
	(現金)	1			160,000
	(買掛金)				412,000
15	(売掛金)	4	276,000		
	(売上)				276,000
17	(売上)		3,000		
	(売掛金)	4			3,000
22	諸口金	1	100,000		
	(現金)				
	(売掛金)	4	136,000		
29	(受取手形)		280,000		
	(売掛金)	4			280,000

総勘定元帳				1	
平成○年	摘要	借方	貸方	借方	貸方
/ /	前期繰越	✓	4,100,000	1	160,000
22	売上	1	100,000		

平成○年	摘要	借方	貸方	借方	貸方
/ /	前期繰越	✓	490,000	1	3,000
15	売上	1	276,000		280,000
22	売上		136,000		

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

売上帳				1
平成 〇年	摘要	内 訳	金 額	
1 15	大阪商店 掛け			
	A 品 210個 @¥400	84,000		
	B 品 320〃 〃〃600	192,000		276,000
17	大阪商店 掛け値引き			
	A 品 50個 @¥60		3,000	
22	三重商店 現金・掛け			
	A 品 590個 @¥400		236,000	
31	総売上高		512,000	
〃	売上値引高		3,000	
	純売上高		509,000	

売掛金元帳

大阪商店					1
平成 〇年	摘要	借 方	貸 方	借または 貸	残 高
/	前月繰越	150,000		借	150,000
15	売り上げ	276,000		〃	426,000
17	売上値引		3,000	〃	423,000
31	次月繰越		423,000		
		426,000	426,000		

三重商店					2
平成 〇年	摘要	借 方	貸 方	借または 貸	残 高
/	前月繰越	340,000		借	340,000
22	売り上げ	136,000		〃	476,000
29	回収		280,000	〃	196,000
31	次月繰越		196,000		
		476,000	476,000		

4 (1)

1

(2)

a	¥	6,956,000	b	¥	3,169,000
---	---	-----------	---	---	-----------

(3)

ア	¥	150,000	イ	¥	320,000
---	---	---------	---	---	---------

5

(1)

借 方			貸 方		
	仕 入		繰越商品	仕 入	
a	繰越商品	680,000			680,000
b	貸倒引当金繰入	40,000		貸倒引当金	40,000
c	減価償却費	145,000		備 品	145,000
d	雑 損	3,000		現金過不足	3,000
e	資 本 金	50,000		引 出 金	50,000

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品				7
1/1 前期繰越	870,000	12/31 減価償却費		145,000
		〃 次期繰越		725,000
	870,000			870,000

(3)

損 益 計 算 書					(単位: 円)
北海道商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで					
費	用 金	額	収 益	金 額	
売上原価	6,150,000	売上高		9,413,000	
給 料	1,662,000	受取手数料		89,000	
(貸倒引当金繰入)	40,000				
(減価償却費)	145,000				
支払家賃	924,000				
水道光熱費	276,000				
雑 費	38,000				
(雑 損)	3,000				
(当期純利益)	264,000				
	9,502,000			9,502,000	

(i) 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
(ii) 当期純利益の記入は、赤字でもよい。